

高校生が自衛隊を体験 - 「総合的な探究の時間」で部隊見学



自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 鹿内猛史1等陸尉）は、10月11日（金）、地域の高校生を対象とした「総合的な探究の時間」の一環として、自衛隊の部隊見学を実施しました。この取り組みは、生徒たちに自衛隊の活動を身近に感じてもらい、国防や災害救助における重要性を理解してもらうことを目的として行われたものです。

最初に横須賀にある海上自衛隊第2術科学校を訪れ、最新の訓練施設や精密機器の操作訓練などの見学を行いました。生徒たちは自衛隊の高度な専門性を実感し、艦艇の運航に必要な専門技術を学ぶ自衛官の姿を目の当たりにして感銘を受けていたようでした。

続いて訪れた潜水医学実験隊では、潜水に関する先端的な医学研究と訓練の様子を見学し、高気圧環境下での実験施設や潜水病治療法の開発など、隊員の安全を守る取り組みに生徒たちの関心が集まりました。

見学後のアンケートでは、「自衛隊の仕事に対する理解が深まった」「自衛官という職業に興味を持った」との回答も多く寄せられました。横浜出張所は、「今後も地域のイベントを主催し、募集広報を通じた防衛基盤の強化に尽力していきます」としています。

隊員自主募集のお願い



自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、10月18日（金）、海上自衛隊厚木航空基地内にある隊員食堂において隊員自主募集に関する協力を依頼した。

当日は、昼食のため隊員食堂を訪れる隊員一人一人に対して、広報官が隊員自主募集への協力をお願いした。声掛けした基地の隊員からは、「頑張ってください」「興味がある人がいれば連絡します」など、好意的な反応があった。また、自衛官の募集状況について確認される場面もあり、現状の厳しい募集環境についての理解も得られるなど、今回の取り組みにより部隊と地本が改めて認識や気持ちを一つにすることができたようだった。

本活動を視察した本部長も、自ら広報官とともに隊員への声掛け等を行うなど、全員のモチベーションも上がり、あっという間に予定の時間は過ぎて行った。

厚木募集案内所は、「厳しい募集環境のなか、隊員自主募集は優秀な人材確保の重要な情報源となっており、今後も部隊と連携し隊員自主募集の重要性について理解していただくよう各種取り組みを実施していく」としている。

横須賀地方隊オースタムフェスタで募集広報活動



自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 田尾雅弘3等海佐）は、10月20日（日）、海上自衛隊横須賀基地で開催された「横須賀地方隊 オースタムフェスタ2024」に参加し、自衛官募集ブースを開設して募集広報活動を行いました。

当日は、風が強く小雨が降るなどあいにくの天候でしたが、オースタムフェスタ会場には1万3千人を超える来場者があり、にぎわいを見せていました。横須賀地域事務所のブースにも多くの人が訪れ、展示されている装備品のプラモデルに興味を示す人や、各種採用パンフレットを手に取り、入隊制度について質問をする人もいて、広報官たちは丁寧に対応していました。

ブースでは広報官に対して、この秋に自衛隊の試験に合格し、海上自衛隊に入隊を予定している女性が、「艦艇での勤務や生活する際に必要なルールが学べて良かった」と満足気に話す姿や、兄弟で来場した男性が、護衛艦「いずも」や砕氷艦「しらせ」を見学して「2人揃って自衛隊を受験しよう」と決めました」と意気込んで話す姿も見られました。

横須賀地域事務所は、「今後も地域で開催される各種行事に積極的に参加し、地域の方々と密接に連携して募集活動に取り組んでいきます。自衛隊に興味がある人のお問い合わせをお待ちしています」としています。